

# 防衛北海道

Bouei Hokkaido  
June 2014  
Hokkaido  
Defense Bureau  
Ministry of Defense



Vol.34

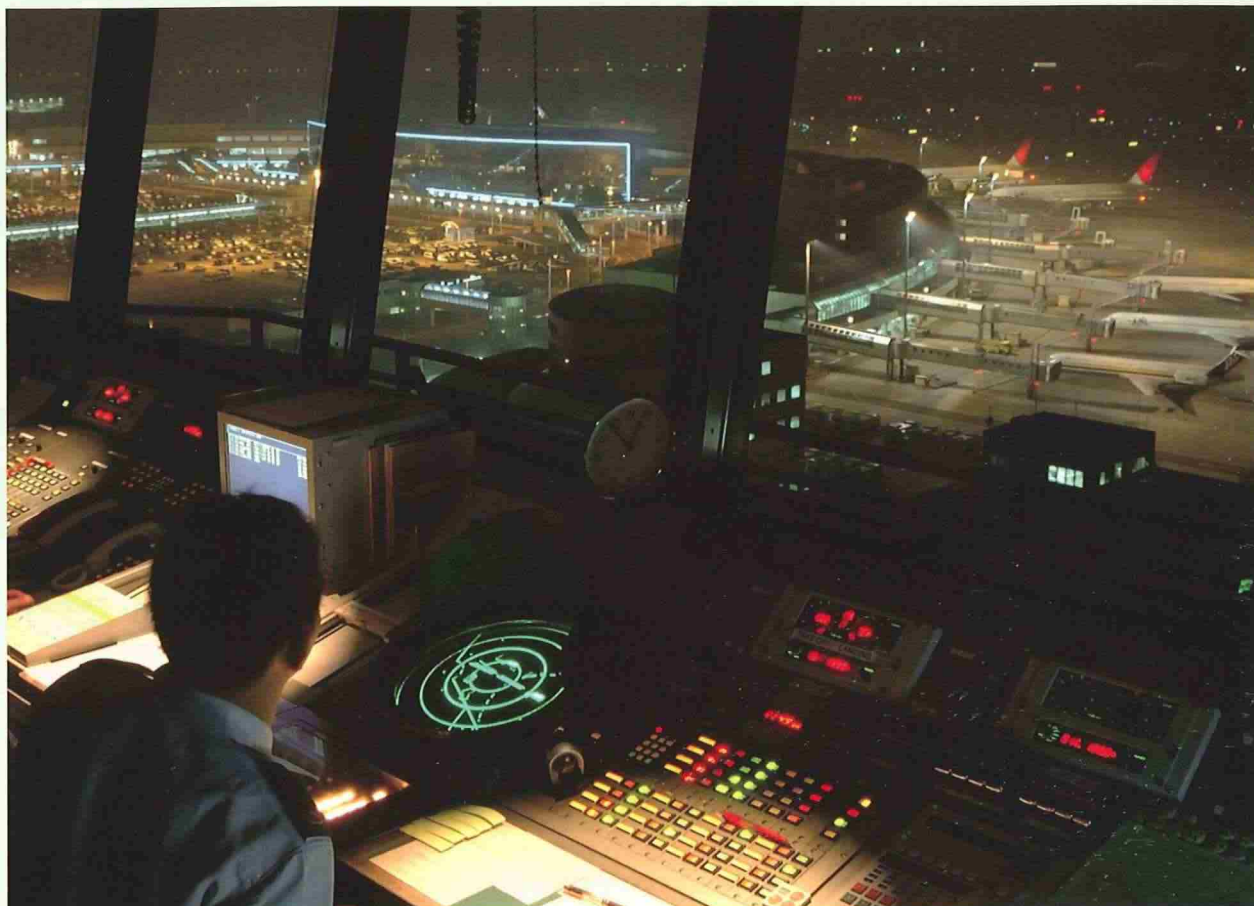


Photo : (上) 航空自衛隊千歳基地と新千歳空港を管制する千歳基地管制塔の隊員 (航空自衛隊千歳管制隊)  
(下左) ターミナル・レーダー管制業務を行う千歳ラフコンの隊員、(下右) 航空自衛隊千歳基地側から望む千歳基地管制塔  
(写真提供 : 航空自衛隊千歳基地広報室)

編集・発行 **防衛省北海道防衛局 広報誌等編集委員会**  
札幌市中央区大通西12丁目 札幌第3合同庁舎  
Tel.011-272-7579  
<http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>





## 米軍航空事故等連絡会議の開催

本年2月28日、北海道防衛局において、千歳基地に係る米軍航空事故等連絡会議が開催されました。

この会議は、千歳基地及びその周辺において米軍による航空事故及び航空事故に伴う災害が発生した場合等の対処に万全を期すため、関係機関相互間の緊密かつ迅速な連絡調整体制の整備等について連絡協議することを目的として、平成19年1月29日に設置されたものです。

今回の会議には、北海道をはじめ、千歳市、苫小牧市など千歳基地周辺の8地方公共団体、千歳市消防本部など5消防本部、北海道警察本部及び千歳警察署、第一管区海上保安本部のほか、航空自衛隊第2航空団及び陸上自衛隊北部方面総監部、以上の18機関23名と、北海道防衛局職員9名を合わせた32名が参加しました。冒頭の北海道防衛局管理部長の挨拶に続き、同部業務課長から、千歳基地に係る米軍航空事故等に関する緊急措置要領及び日本国内における合衆国軍隊の使用する施設・区域外での合衆国軍用航空機事故に関するガイドラインの概要等の説明を行い、航空事故等が発生した際の対応について再確認することができました。

また、説明終了後は、在札幌米国総領事館のジョエレン・ゴーク首席領事をお招きし、「日米同盟について」をテーマとした講話をしていただきました。

講話では、自衛隊と米軍の協力関係による防衛力の存在が日本の平和と安全保障に寄与するとともに、日米同盟はアジア太平洋地域の安全保障の基礎をもたらしていることなどの説明がありました。

首席領事の講話終了後は、在札幌米国総領事館の細川政務専門官から、同総領事館の歴史的な生い立ち及び業務内容などの説明がありました。

会議出席者の方々は、首席領事の講話内容について積極的に質問され、本会議が日米関係などの知識を深める場にもなりました。

今後も定期的に本会議を開催することにより、関係機関相互間の連絡体制を強化及び維持し、米軍航空事故等が発生した場合の対処に万全を期してまいります。



会議の状況



ジョエレン・ゴーク首席領事による講話

※首席領事による講話は、「防衛北海道Vol.33」（北海道防衛局HPに掲載）でも紹介していますので、是非御覧下さい。

## 北海道防衛局幹部紹介

～この春の異動で北海道防衛局の幹部が交代しました。～

### 総務部長 野中 文勝

4月1日付けの異動で総務部長を拝命しました野中です。

北海道勤務は初めてとなりますが、諸先輩方が築いてきた地域の皆様方との信頼関係を大事にしつつ、北海道防衛局の業務がより円滑に進むよう、微力ながら努力してまいりたいと考えております。

よろしくお願ひ申し上げます。



### 防衛補佐官 戸上 義隆

3月23日付けで防衛補佐官を拝命しました戸上1佐です。

これまで全国の陸上自衛隊の部隊等で指揮官・幕僚又は教官として勤務して参りました。

特に野戦特科（旧軍の砲兵）幹部として、中隊長・大隊長をここ北海道で勤務した思い出が強くあります。また少年時代を北海道で育った者として、今回の北海道勤務は、最高の喜びとするところです。

これまで培って参りました自衛官としての識能・経験を本職で大いに発揮し、北海道防衛局の円滑な業務推進に貢献していきたいと思っています。

よろしくお願ひします。



### 帯広防衛支局長 大井 敏光

4月1日付けの異動で帯広防衛支局長を拝命した大井です。

初めての北海道勤務ということで身の引き締まる思いです。

これまで築き上げられた地域の皆様方との信頼関係を大切に、更に発展しますよう、微力ながら努力してまいり所存であります。

よろしくお願ひ申し上げます。





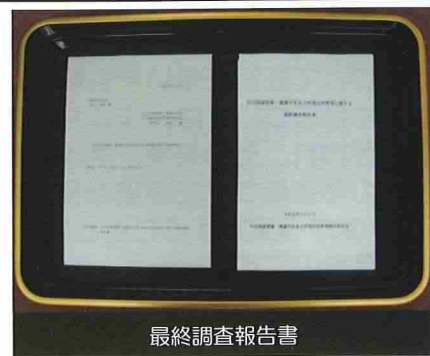
# 矢臼別演習場・風蓮川水系土砂流出対策等 検討委員会最終調査報告書が提出

北海道防衛局及び別海町は、矢臼別演習場内を流れる風蓮川水系におけるイトウ等魚類の繁殖及び生息状況並びに土砂流出の実態等を踏まえた土砂流出対策施設の下流地域社会及び河川生物への影響について検討を行うことにより、流域の環境保全に配慮した土砂流出対策の資とするための提言を得ることを目的として、平成20年5月、土砂流出、魚類生態、自然環境等の有識者で構成された矢臼別演習場・風蓮川水系土砂流出対策等検討委員会（委員長新谷融北海道大学名誉教授）を設置しました。



新谷委員長から島川局長へ最終調査報告書手交

同委員会では、平成20年7月に第1回の検討委員会を開催して以来、約5年半にわたり8回の検討委員会による議論を経て、本年3月27日、「矢臼別演習場・風蓮川水系土砂流出対策等に関する最終調査報告書」が取りまとめられ、当局及び別海町に対し同報告書が提出されました。



最終調査報告書

本報告書では、平成20年7月以降、風蓮川水系で行った流域調査、矢臼別演習場から流出した土砂の風蓮湖への影響等を把握するための調査、スリットダム土砂捕捉効果の検証、既存ダムスリット化後におけるモニタリング調査、土砂生産源調査等の各調査結果等の記述に加え、それらの調査結果を踏まえ、矢臼別演習場内における土砂流出対策等の方向性についての委員会からの提言が示されています。

当局としては、平成22年9月の委員会の中間提言を受け、これまで玉川1号ダムと楓沢2号ダムのスリットダムへの改良工事及び土砂生産源対策を行うとともに、その後のモニタリング等を実施してきたところでありますが、本報告書における提言内容を踏まえ、今後も引き続き適切に対処していくこととしています。

また、同委員会の検討事項は地元地域及び社会的に関心が高い環境保全施策であり、第1回の委員会開催時から委員会を公開してきたことを踏まえ、当局及び別海町では、本報告書全文を北海道防衛局ホームページ「矢臼別演習場・風蓮川水系土砂流出対策等に関する最終調査報告書の公表について」にて掲載し、公開しています。なお、希少生物の生息環境に関する情報については、その保護の観点から非公開としています。

北海道防衛局ホームページ：<http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>



「幻の魚」と呼ばれるイトウ  
(札幌市豊平川さけ科学館にて撮影)



土砂生産源対策（緑化及び側溝工）

### イトウとは

サケ目サケ科イトウ属イトウ  
環境省「汽水・淡水魚類のレッドリスト」：絶滅危惧ⅠB類  
（A種ほどではないが、近い将来絶滅の危険性が高い種）  
水産庁「日本の希少な野生生物に関する基礎資料」：希少種  
北海道「北海道レッドリスト」：絶滅危惧種（Cr）  
（絶滅の危機に直面している種または亜種）

### スリットダムへの改良工事

イトウなどの魚類が上流へさかのぼれるように、既設の砂防ダムのコンクリート断面に切れ込みを入れる工事



## 平成26年度防衛省所管補助事業等実務担当者研修会開催

4月17日、千歳市内のホテルにおいて、北海道基地協議会（会長：千歳市長）主催の「平成26年度防衛省所管補助事業等実務担当者研修会」（後援：北海道防衛局、協賛：（一財）防衛施設協会）が開催されました。

当研修会には、防衛省地方協力局から山岡周辺環境整備課長等が、また、北海道防衛局からは各担当課長等が講師として参加し、道内45自治体等の実務担当者約230名に対し補助事業の内容等を説明しました。

当日は、研修会に先だち、主催者である山口千歳市長から「採択事業の拡大、要件の緩和など、引き続き、防衛施設関係自治体への理解と支援をお願いしたい。」旨の御挨拶があり、北海道防衛局杉本次長から、防衛施設周辺地域の市町村及び住民の方々の御理解と御協力に対し謝意を伝えるとともに、「国の財政事情は依然として厳しい状況にあるものの、各市町村の御要望に対し最大限の努力をするので、防衛施設行政への御理解と御協力をお願いしたい。」旨の挨拶をしました。

全体研修では、特定防衛施設周辺整備調整交付金（いわゆる「調整交付金」）に係るPDCAサイクル実施要領について、山岡周辺環境整備課長から概要説明を行い、続いて、同課担当者から具体的な内容について説明を行いました。

調整交付金については、昨年11月、行政改革推進会議による「秋のレビュー」において有識者による議論が行われ、その結果、調整交付金の効果の検証やPDCAサイクル及び地域住民への周知を高める活動の徹底について指摘を受けたことを踏まえ、防衛省はPDCAサイクルの実施要領を定め、平成26年度から実施することとしたところであり、今般の研修会において当該実施要領について説明がなされたものです。

続いて、北海道防衛局会計監査官から会計検査院による会計検査の観点、過去の検査報告事例について説明しました。

全体研修会終了後の分科会では、民生安定、障害防止・道路、騒音防止の各班に分かれ、北海道防衛局担当職員17名が補助事業の内容等について詳細に説明し、活発な意見交換や質疑応答が行われました。

この研修を通じて、自治体等の実務担当者の方々が防衛省の補助制度を理解し有効に活用することにより、これまで以上に防衛施設と周辺地域との調和が図られ、より一層、防衛施設の安定的使用に寄与することを期待しております。



北海道基地協議会長  
山口千歳市長挨拶

北海道防衛局  
杉本次長挨拶

防衛省地方協力局  
山岡周辺環境整備課長

分科会の様子

## 平成26年度業務隊長等集合訓練で周辺対策事業について説明



山田統括調整官  
による説明

4月24日、北部方面総監部（札幌駐屯地）において業務隊長等集合訓練が実施されました。この訓練は、管内の業務隊長等に対し、職務遂行に必要な事項の徹底を図ることを目的に同総監部が毎年度実施しているものです。

当局では、各駐屯地と関係自治体のより密接な連携を図るための一助として、今回の同訓練において、当局が実施している防衛施設周辺対策事業について説明を行いました。

当局は、今後もこうした訓練の場を通して同総監部と連携を取りつつ、防衛施設と周辺地域との調和を図ってまいります。



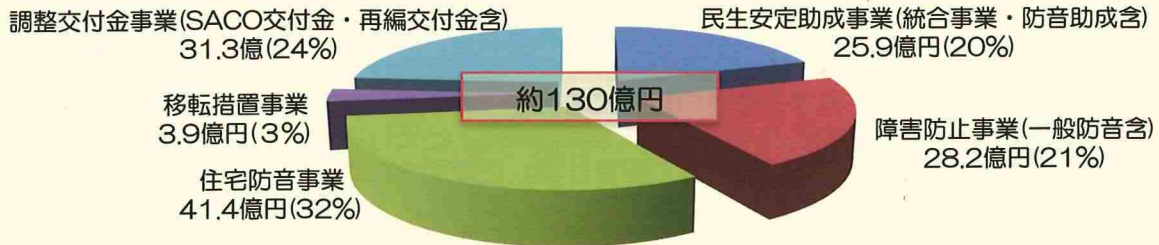
業務隊長等集合訓練風景



## 防衛施設と周辺地域との調和を図るために

北海道防衛局では、防衛施設の設置・運用に伴う障害の防止や軽減等するため、防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律等に基づき、障害防止事業、騒音防止事業、民生安定助成事業等様々な施策を実施しています。平成25年度における補助金交付額等の実績は約130億円、各事業に係る補助金交付額等の実績は以下のとおりです。

### 平成25年度における各事業ごとの補助金交付額等実績



※ 金額は、歳出ベースでかつ1千万円未満は切り捨てて集計しています。

※ 防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律等に基づく各種施策につきましては、北海道防衛局ホームページ「防衛施設と周辺地域との調和を図るための施策」に詳しく掲載していますので、ご参考にしてください。 <http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>

## 民生安定助成事業の紹介

### ～千歳市スポーツセンターリニューアルオープンセレモニー～

防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第8条に基づく民生安定助成事業は、飛行場や演習場などの防衛施設の設置及び運用により、その周辺地域の住民の生活又は事業活動が阻害されると認められる場合において、その障害の緩和に資するため、公園、消防施設、農業用施設等の各種施設を地方公共団体が整備するとき、その整備に要する費用の一部を補助するものです。

本稿では、平成25年度に大規模な改修工事を終えた千歳市スポーツセンター（体育館）について紹介します。

千歳市スポーツセンターは、昭和53年7月オープン以来36年が経過し、老朽化に加え、近年のジョギングブームなどによる健康志向の高まりや高齢化社会の進行など運動の重要性が認識される中、施設利用者の多様なニーズにあった改修工事が望まれていました。このため、同市は、市民が安全かつ快適に利用できる施設にするため、トレーニング室を従来の面積の1.6倍に拡充し、周回ランニングコースの新設、高齢者や身体障害者などが利用しやすいようスロープの勾配の改善・ホールや廊下などの手すりの更新増設、耐震補強工事などの改修工事が必要として当局に対して補助事業の要望がなされました。

当局では、既存の施設の有効活用を促進する観点から、高齢者や身体障害者などが当該施設を円滑に利用できるようにするためのバリアフリー化や耐震化などの改修工事は、千歳飛行場の設置・運用に伴う障害を緩和し、同飛行場の安定的な使用に資することから、平成21年度に住民のニーズを反映するための改修工事に係る調査、平成23年度に実施設計、平成24年度から平成25年度に改修工事の助成を行い、本年3月に改修工事が終了しました。

4月19日には同スポーツセンターのリニューアルオープニングセレモニーが行われ、千歳市長の挨拶に続くテープカットの後、新しくなった施設の見学会が開かれました。セレモニー終了後は、25日まで無料開放され、おおよそ1,000名の市民が利用し好調な滑り出しとなりました。

施設を利用した住民からは、「トレーニングルームがきれいになり、トレーニング機器も充実されていた」、「ランニングコースが幅広く、明るくて良い」などの声が聞かれ、今後、地域住民に大いに活用されることと思います。当局は、防衛施設の設置・運用に伴う障害の緩和により、防衛施設を安定的に使用するためには、地域住民の御理解と御協力が欠かせないとの認識のもと、今後も防衛施設周辺の対策事業を積極的かつ効果的に助成してまいります。



大規模改修工事を終えた市スポーツセンター

#### 【千歳市担当者の声】

このたび、防衛省の助成を受け、開設以来長年の使用により老朽化が進んでいた千歳市スポーツセンターのリニューアルオープンを迎えることができました。利用者からの多くの要望を取り入れ、より利用しやすい施設になったと思います。今後もリニューアルしたスポーツセンターが市民の健康づくりと生涯スポーツのますますの振興に役立つよう努めてまいります。

#### 【当局周辺環境整備課担当者から一言】

この事業は、地域住民の利便性の向上を目的とした整備に対する補助事業であり、千歳市やスポーツセンターの担当者の方々と十分な調整を行いながら事業を進めてきました。今後も、防衛施設周辺の住民の皆様のお役に立てるよう、御意見を伺いながら当局事業の推進に努めていきたいと思っております。



テープカットをする山口千歳市長(左から4人目)、北海道防衛局 山田統括調整官(左から6人目)などの関係者





## 陸上自衛隊 北部方面隊

### 平成26年度を迎えて ～北部方面総監 陸将 田邊揮司良～

協力諸団体、各自治体をはじめ道民の皆様には、日頃より北部方面隊の活動に対する御支援・御協力を頂きありがとうございます。

平成25年度を振り返りますと、我が国を取り巻く安全保障環境が急速に厳しさを増す一方で、自衛隊に対する国民の期待と信頼は一層の高まりを見せる中、昨年12月には、我が国初となる「国家安全保障戦略」とそれに基づく新たな「防衛計画の大綱」及び「中期防衛力整備計画」が策定されるという我が国の安保・防衛政策における転換点となる年となりました。

方面隊は、変革の時を見据え、「何時いかなる任務を与えられようとも事態に即応して任務を完遂する強靱な部隊」の実現に向け、覚悟と緊張感をもって隊務に取り組んで参りました。特に、平成25年度日米共同方面隊指揮所演習では、日米共同対処能力の向上、信頼関係の更なる構築等、多くの成果を得ました。自衛隊統合演習では、方面隊として初めてとなる沖縄県の宮古島への地対艦ミサイル連隊の機動、展開訓練を通じて、方面隊の即応性を更に向上させることができました。

また、今回初めて武力攻撃事態における国民保護措置に係わる関係機関との連携訓練を自治体や指定公共機関の方々の参加を得て実施して、これまで以上に地域との連携を深められたことは、大変意義深いことでした。さらに、本年3月には、日露防衛交流の一環として、私自ら、ロシアのハバロフスクに所在するロシア軍東部軍管区司令部や現地部隊等を訪問し、ロシア軍の現状を把握するとともに、相互の信頼関係を醸成することができました。

さて、本年度は、新防衛計画の大綱及び新中期防衛力整備計画策定後の初年度として、方面隊としても新たな体制・態勢に向けて業務を推進していきます。陸上自衛隊最大の勢力を有し、引き続き重戦力を保持する北部方面隊の役割は更に重要性を増すものとの認識の下、強靱な部隊を育成し、いかなる任務にも即応して、これを完遂します。このため、即応態勢の充実、関係部外機関との更なる連携強化を図るとともに、変化に迅速に対応できる柔軟性を保持しつつ隊務にあたって参ります。

本年2月には、派遣海賊対処行動航空隊第15次要員をアフリカのジブチへ派遣しておりますが、今年度は更に国際平和協力活動への部隊派遣を準備しております。秋頃には、方面隊実動演習を実施し、方面隊の総合戦闘力を発揮する能力を向上すべく、年度を通じて段階的に訓練し、練度を高めていきます。日米共同においては、昨年の日米共同方面隊指揮所演習で得た共同対処能力を、実動訓練の場で更に向上するとともに、更に相互の信頼関係を構築します。また、春・秋の定期演習場整備では、自衛隊全体の道場である北海道の演習場等の施設を維持・改修して、より効果的に訓練ができるよう段階的に整備します。

方面隊は、隊員一丸となり、陸上自衛隊創隊以来の大改革に全力で挑む意欲を堅持し、変化に対応する柔軟性を保持するとともに、まさに今、我が国を自らの手で守るという気概と事に臨んでは危険を顧みず、身をもって責務の完遂に努めるという究極の自己犠牲の精神を発揮する覚悟を持って「所命完遂」任務に邁進してまいります。

最後に、協力諸団体、各自治体をはじめ道民の皆様の御多幸と御健勝を祈念するとともに、新年度におきましても北部方面隊に対し一層の御支援・御協力を賜りますことをお願い申し上げます。



北部方面総監 陸将 田邊揮司良

### 一般陸曹候補生・自衛官候補生が道内各地で入隊式 ～約1,300名が入隊～

4月初旬、方面隊の教育を担当する各部隊において、一般陸曹候補生と自衛官候補生の入隊式が行われました。

その中の一つ、真駒内駐屯地に所在する第120教育大隊では、4月5日に第7期一般陸曹候補生課程約270名、6日には、自衛官候補生（女性）約80名の入隊式が行われました。

入隊式には、国会議員をはじめ、多数の来賓と御家族が参加され、入隊者の新たな門出を祝福する中、入隊者は、声高らかに服務の宣誓をし、北の守りの一員として、力強く第一歩を踏み出しました。



第7期一般陸曹候補生課程（真駒内）



力強く宣誓する自衛官候補生（名寄）



緊張の武器貸与式（函館）



双子の自衛官による宣誓（東千歳）



## 海上自衛隊 函館基地隊 最新型護衛艦「すずつき」 函館に入港～



本年4月4日、函館港町心頭に第4護衛隊群第8護衛隊（佐世保）所属の最新型護衛艦「すずつき」が入港しました。

護衛艦「すずつき」は「あきづき」型護衛艦の3番艦で本年3月12日三菱重工業長崎造船所で就役したばかりの護衛艦です。

全長約150m、全幅約18m、速力最大30ノット、搭載武器は127ミリ単装速射砲、垂直発射装置一式、対艦ミサイル装置一式、高性能20mm機関砲、3連装魚雷発射管、哨戒ヘリコプター等です。

時おり雪が降るあいにくの天気でしたが、函館寄港中は一般公開を実施し、多くの函館市民の方が見学に訪れました。

函館は、海上自衛隊の艦艇乗員にとって一番といっても過言ではないほど人気のある港であり、乗員も温泉や北の海の幸を存分に楽しみました。

短い入港期間内に補給・一般公開を済ませ、また新たな任務のため4月6日出港しました。

次回は体験航海を期待したいところです。



「すずつき」進水式の様子 (H24.10.17)



洋上を航走中の迫力ある前影

## 航空自衛隊 千歳基地 ～平成26年度基地モニター委嘱式～



「航空自衛隊及び千歳基地を知っていただき多くの意見を！」

4月23日、千歳基地は、第2航空団会議室において、基地モニター委嘱式を行いました。

基地モニター制度は、基地周辺住民から自衛隊及び基地に対する意見や要望を聴取し、基地諸施策の改善、向上に資することを目的としています。

基地では、昭和52年から毎年、10名の方に基地モニターを委嘱しており、基地行事等（基地成人式、航空祭、基地餅つき等）に招待し、千歳基地を理解していただくとともに、年度末に行われる基地モニター会議では、基地に対する意見や要望等を多数いただいています。

委嘱式で基地司令は、基地モニター一人一人に委嘱状を手渡した後、「これから1年間、基地行事等に御参加いただき、航空自衛隊、そして、千歳基地をよく知っていただくとともに、御意見や御要望があれば遠慮なく言ってもらいたいと思います。日頃、航空自衛隊とあまり縁がなかった方もおられると思いますが、これを機に末永くお付き合いいただければと思います。今年1年よろしくお祈りします。」と挨拶しました。

委嘱行事を終えた8名の基地モニターの皆さんは、司令部庁舎前で記念撮影を行った後、基地の見学を行いました。



委嘱式であいさつをする基地司令



参加した基地モニター8名との記念撮影



# 北海道内の防衛施設



幌別来馬演習場

## 道場巡り ～部隊の礎、第13施設隊の道場～

### 幌別来馬演習場（登別市）

本シリーズは、日頃なかなか目に触れることの少ない防衛施設にスポットを当て、皆様に御紹介するものです。

陸上自衛隊幌別来馬（らいば）演習場は、登別市来馬町に所在し、幌別駐屯地から北に約13km離れた来馬岳の中腹に位置しており、演習場の周辺には草原が広がり太平洋や数々の山々が一望できます。

この演習場は、東西約1.6km、南北約1.1kmで、全周は約5.5km、約1km<sup>2</sup>（札幌ドーム約3個分）の広さを有しており、中隊から小隊規模までの訓練に適した小規模演習場で、幌別駐屯地業務隊が管理しています。

使用状況は、年間を通じ、主に第13施設隊が障害構成訓練や陣地構築訓練に使用するほか、野戦特科部隊による陣地構築訓練、地对艦ミサイル連隊による非実射訓練、新隊員教育隊による戦闘訓練及び基本爆破訓練、飛行隊等によるヘリの離発着訓練、普通科連隊衛生小隊による患者収容所の構築訓練等、道内の陸上自衛隊各部隊に使用されています。

また、平成25年度では年間約110日、延べ約5,000人の隊員が、練度向上のため厳しい訓練に励んでいます。

来馬演習場は、小規模ながらも第13施設隊をはじめとする道内陸上自衛隊各部隊の各種訓練の「道場」として有効に利用されており、幌別駐屯地及び第13施設隊が主体となり、各種施設器材を駆使し定期的に維持・整備を行っています。

### 幌別来馬演習場での訓練状況

（写真提供：幌別駐屯地）



ヘリによる運搬訓練



道路障害作業車による障害構成訓練



冬季における陣地構築訓練

## 防衛施設所在の首長さんからのメッセージ

登別市は、北海道の南西部の太平洋に面した胆振（いぶり）管内のほぼ中央に位置する人口約51,000人のまちです。

豊かな自然環境と多くの泉質や豊富な湯量の温泉に恵まれ、北海道有数の観光都市であるとともに、本道で最も進んだ重工業地帯の室蘭工業圏の一翼として発展してきました。名湯・登別温泉には、全国から多くの観光客が訪れており、最近では台湾やタイなどアジア・東南アジア各国からの観光客も増えて、国際色豊かな観光地として、にぎわいをみせております。

地獄の谷の鬼花火は今年で9年目を迎え、登別温泉の人気イベントに成長しました。昨年8月には、登別温泉の最大イベントである登別地獄まつりが、半世紀の節目を迎え、3日間にわたって盛大に開催されました。



登別市 小笠原 春一 市長

市内には、胆振管内唯一の実動部隊として第13施設隊を主力とする幌別駐屯地が所在し、隊員約400名が勤務しております。

また、市内には来馬演習場が所在し、幌別駐屯地の隊員を主とする部隊による訓練が行われております。

幌別駐屯地は昨年開設60周年を迎えましたが、この間、隊員の方々には、災害発生時等における支援はもとより、各種イベントや地域活動における積極的な参加など、様々な場面で貢献いただいています。

昨年11月には、幌別駐屯地の更なる支援強化を図るため、登別市自衛隊協力会に加えて、地元経済団体などによる幌別駐屯地体制強化期成会が発足しており、今後も自衛隊と共存共栄してまちづくりに取り組んでまいります。



登別温泉 ～地獄の谷の鬼花火～

（写真提供：登別市役所）



## 非常勤務態勢に関する職員教育を実施

北海道防衛局は、緊急事態等（国民の生命、身体、財産又は国土に重大な被害が生じ、又は生じるおそれがある事態及び防衛省・自衛隊に関連して生じたその他の社会的な影響が大きな事件・事故をいう。）が発生した際の速報と初動行動を円滑かつ効果的に対処するための非常勤務態勢を整備しています。

当局は、本年4月の人事異動に伴い、他の地方防衛局等から転入した職員及び新規採用職員を対象に、本年4月21日から23日にかけて非常勤務態勢について教育を実施しました。

教育内容は、緊急事態等が発生した際における

- 1) 内閣総理大臣、防衛大臣等への速報連絡態勢
- 2) 初動行動における情報収集及び整理
- 3) 事態に対応した第1種から第3種までの非常勤務態勢
- 4) 対策本部の設置及びその運用要領

5) 地方施設整備調査チームの派遣による技術的支援 など  
にわたり、参加した職員は、事態等が発生した際に行うべき業務の重要性を再認識し、防衛省職員として平素の備えと自身の心構えを新たにしました。

当局は、今後も非常勤務態勢における職員教育や各種事態を想定した訓練等を実施し、緊急事態等が発生した際に、適切に対応できるよう態勢を整えていくこととしています。



非常勤務態勢に関する教育を受ける職員



## 旧札幌防衛施設局庁舎の建て替え

かつて旧札幌防衛施設局が入居していた庁舎を解体することになりました。



石山通り側から見た庁舎



庁舎全景



正面玄関

北海道防衛局の前身である札幌防衛施設局が、官公庁機関の集約化に伴い平成6年2月に現在地の札幌第三合同庁舎に移転してから、早くも20年経過しました。

移転前は、現在の合同庁舎から南約4 kmに所在する陸上自衛隊札幌駐屯地の一角、中央区南24条西10丁目の庁舎に入居していました。局移転後の旧庁舎は陸上自衛隊に移管され、現在は、陸上自衛隊北部方面通信群の一部と自衛隊札幌地方協力本部西部地区隊が使用していますが、数年前まで一部の地図には南24条の旧庁舎が札幌防衛施設局と表示されていたものがあつたようです。

旧庁舎は、昭和37年11月に旧調達庁と旧防衛庁建設本部が合併して発足した防衛施設庁札幌防衛施設局の入居する庁舎として昭和38年に北海道開発局営繕部により建設されたもので、鉄筋コンクリート構造の地上3階建て、延べ床面積約2,600㎡の建物です。現在も外観は移転当時とほとんど変わらず、ここに在籍していた諸先輩や訪れたことのある自治体等の方々にとっては、懐かしい庁舎の姿をとどめています。建設後49年の時間の経過とともに老朽化が進み、必要な耐震性能を保有していないことが判明したため、このたび、建て替えることとなったものです。

新たに建設される新庁舎は、旧庁舎と延べ床面積はほとんど変わりませんが、限られた敷地を有効利用するため、現在より1階高い、地上4階建てのモダンな建物となり、旧庁舎の面影はなくなります。

旧庁舎の解体工事は、本年7月から着手の予定で、敷地内に立ち入ることはできませんが、国道230号線（石山通り）側から外観を垣間見ることができまので、以前の旧庁舎を御存知の方は、近郊にお越しの際に、旧庁舎を見ながら当時の思い出に浸ってみてはいかがでしょうか。

入居した昭和38年から移転した平成6年までの29年間、札幌防衛施設局の職員はこの旧庁舎で防衛施設の安定的使用の確保を主任務として防衛施設行政の一端を担ってきましたが、この旧庁舎の解体でまた一つ札幌防衛施設局の歴史が終わることとなります。北海道防衛局では、往時の諸先輩の精神を引き継ぎ、防衛省・自衛隊の取組等について道民の皆様と地元自治体等の御理解と御協力が得られるよう、当局としての歴史の1ページを築くべく今後とも一層の努力をしてみたいです。



旧庁舎の門標



施設局OB有志が作成したテレホンカード



## ～ 防音対策事業の補助対象施設追加のお知らせ ～

### 補助対象施設の追加及び補助金の交付

- 防音事業及び防音事業関連維持事業の補助対象施設に、**認可外保育施設等<sup>※1</sup>**が追加されました。

※1 認可外保育施設等とは・・・

児童福祉法第39条第1項に規定する業務を目的とする施設であって、同法第35条第3項の届出をしていないもの、同条第4項の認可を受けていないもの又は都道府県が設置する施設であって、同法第45条の規定により条例で定められた基準を満たしていないものをいいます。

- 認可外保育施設等の補助金の交付については、保育所（児童福祉法第39条第1項に規定する保育所）に係る補助の例によります。
- なお、防音工事の補助を受けるにあたっては、下記「○ 防音工事の補助を受けるためには…」をご覧ください。

### 事業の概要

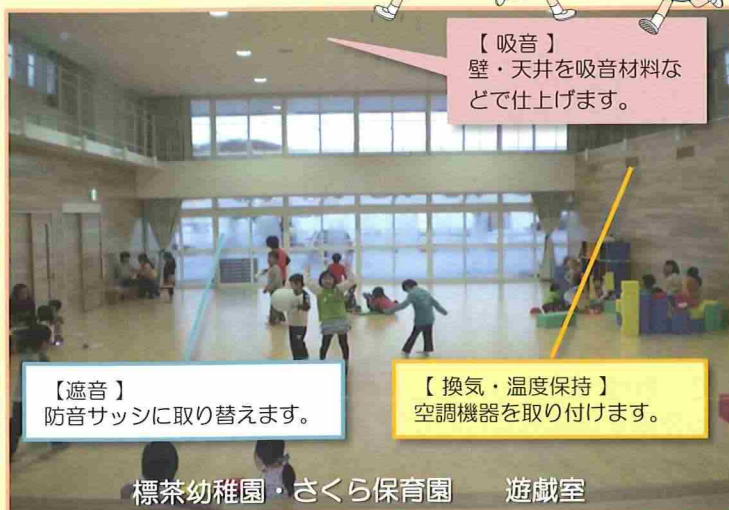
- 北海道防衛局では、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」第3条第2項等の規定に基づき、自衛隊等の航空機の離着陸等のひん繁な実施等により生じる音響で著しいものを防止し、又は軽減するため、地方公共団体その他の者が学校・病院等<sup>※2</sup>、**認可外保育施設等**の防音工事を実施するときは、その費用の全部又は一部を補助しています。

※2 学校（幼稚園、小学校、中学校、高等学校など）、病院、診療所、助産所及びその他の施設（専修学校、保育所、特別養護老人ホームなど）をいいます。

- また、「防衛施設周辺防音事業補助金交付要綱」第14条の規定に基づき、上記の補助事業により防音工事を実施した小学校、中学校、高等学校、幼稚園、保育所、**認可外保育施設等**などに設置されている換気設備及び温度保持設備を、騒音防止のため、稼働させ、又は稼働し得るよう維持する際の電気料金等について補助しています。

### 事業の内容

#### ○ 防音工事の一例



(写真提供：標茶町)

#### ○ 防音工事の補助を受けるためには…

- ・ 原則として、対象施設毎に音響測定を実施し、音響の障害を確認します。
- ・ 厚生労働省が定める認可外保育施設指導監督基準を満たすものとして、都道府県知事等が交付する証明書の交付を受けていることなどがが必要です。

※ 詳しくは、北海道防衛局企画部 防音対策課までお問い合わせ下さい。

防音工事に係る費用は原則100%補助です。  
※ 工事の方法によっては、自己負担が生じる場合があります。

防音工事の補助を希望される施設設置者等の皆様は、ご遠慮なくお問い合わせください。

※ 認可外保育施設等の補助金の交付制度につきましては、北海道防衛局ホームページ「学校等の防音工事のあらまし」に詳しく掲載していますので、御参考になさってください。

<http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>

■ お問い合わせ先  
北海道防衛局企画部防音対策課  
北海道札幌市中央区大通西12丁目  
電話：011-272-7569（直通）  
FAX：011-272-7561



# 防衛問題セミナーのご案内

## テーマ：新たな防衛計画の大綱と北海道の陸上自衛隊

北海道防衛局では、わが国の防衛に関する諸施策について、多くの方々にさらなる御理解を深めていただくことを目的に、北海道内各地において、防衛問題セミナーを開催しています。事前申込など必要ありませんし、**入場無料**ですのでお時間のある方はぜひ御来場下さい。

### 【第27回防衛問題セミナー】後 援：旭川市

- 開催日：平成26年7月12日（土）開場12：30 開演13：00
- 会 場：旭川市大雪クリスタルホール
- 講演者：① 防衛省防衛政策局防衛計画課長 防衛書記官 中嶋 浩一郎  
「新たな防衛計画の大綱と防衛力整備について」
- ② 陸上自衛隊第2特科連隊長 1等陸佐 南 浩  
「北海道を取り巻く安全保障環境と第2師団」



### 【第28回防衛問題セミナー】後 援：帯広市

- 開催日：平成26年7月13日（日）開場12：30 開演13：00
- 会 場：とかちプラザ
- 講演者：① 防衛省防衛政策局防衛計画課長 防衛書記官 中嶋 浩一郎  
「新たな防衛計画の大綱と防衛力整備について」
- ② 陸上自衛隊第5旅団長 陸将補 深津 孔  
「陸上自衛隊第5旅団の活動状況について」



※講師が変更となる場合があります。

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の100万分の1 日本を複製したものです。  
(承認番号 平25情復、第649号)

## 広報誌「防衛北海道」を配布しています！

### 2014年広報誌等の配布予定イベント等

北海道防衛局では、防衛省の政策及び施策について広く国民の皆様にご理解をいただくため、北海道内に所在する駐屯地等の記念行事や地域のイベントにおいて、広報誌「防衛北海道」や、「防衛省・自衛隊の組織・活動2014（配布物①）」、「防衛省職員採用の案内（配布物②）」等、各種パンフレットを配布しています。

今年は右記のイベント等で広報誌「防衛北海道」等の配布を予定していますので、御来場の際は、北海道防衛局の**緑ののぼり旗**と**防衛省ロゴ入りの青いスタッフジャンパー**を着た職員を目印に、お気軽にお立ち寄り下さい。

配布日	開催場所	イベント名
6月 1日(日)	真駒内駐屯地	第11旅団創立6周年・真駒内駐屯地開庁60周年記念行事
6月14日(土)	滝川駅前（ベルロード）	滝川駐屯地創立59周年記念行事（14日：市内パレード）
7月20日(日)	丘珠駐屯地	第28回札幌航空ページェント※
8月 3日(日)	千歳基地	千歳基地航空祭
	幌別駐屯地	幌別駐屯地創立61周年・第13施設隊創隊6周年記念行事
9月 6日(土)	室蘭港中央ふ頭	室蘭スワンフェスタ2014※
11月21日(金)	札幌コンサートホールkitara	第11音楽隊第40回定期演奏会

※防衛省・自衛隊以外の行事



5月3日 札幌ドーム



目印は  
のぼり旗とスタッフジャンパー



配布物①



配布物②





平和を、仕事にする

# 平成26年度 自衛官募集



防衛省・自衛隊  
MINISTRY OF DEFENSE

募集種目		応募資格	受付期間	試験期日	合格発表
航空学生		高卒(見込含) 21歳未満の者	8月1日(金) ～9月9日(火)	1次: 9月23日(火) 2次: 10月18日(土) ～23日(木) 3次: 11月15日(土) ～12月18日(木)	1次: 10月10日(金) 2次: (海)11月12日(水) (空)11月7日(金) 最終: H27年1月21日(水)
一般曹候補生		18歳以上27歳未満の者	8月1日(金) ～9月9日(火)	1次: 9月19日(金) ～20日(土) 2次: 10月9日(木) ～15日(水)	1次: 10月2日(木) 最終: 11月7日(金)
自衛官候補生	男子	18歳以上27歳未満の者	年間を通じ受付を行っています。詳しくは、最寄りの自衛隊協力本部にお問い合わせ下さい。		
	女子		8月1日(金) ～9月9日(火)	9月25日(木) ～29日(月)	11月7日(金)

◆他の種目や詳しい内容は最寄りの自衛隊地方協力本部へお問い合わせ下さい。



札幌地方協力本部  
011(631)5472



函館地方協力本部  
0138(53)6241



旭川地方協力本部  
0166(51)6060



帯広地方協力本部  
0155(23)2485

◆募集コールセンター

守ろうみんなの国



0120-063792

年中無休受付時間 12時～20時



自衛官募集ホームページ

<http://www.mod.go.jp/gsdf/jieikanbosyu/>

自衛官募集

検索

自衛官募集携帯サイト



## 平成26年度 事務官等採用試験の日程

試験名			受付期間 (インターネット申込み)	第1次試験	第2次試験	最終 合格発表
国家公務員 採用試験	一般職 試験	高卒程度試験	6月23日(月) ～7月2日(水)	9月7日(日)	10月16(木) ～24日(金)	11月18日(火)

※採用試験に関する情報は、防衛省又は人事院のホームページをご覧ください。

## 6月の道内自衛隊の主なイベント

開催日	開催場所	イベント名	お問合せ
6月 1日(日)	真駒内駐屯地	第11旅団創立60周年・真駒内駐屯地開庁60周年記念行事	第11旅団司令部広報班 011-581-3191
	名寄駐屯地	名寄駐屯地創立61周年記念行事	名寄駐屯地広報班 0165-43-2137
6月 7日(土)	音更町文化センター	第5音楽隊第42回定期演奏会 ※	第5旅団司令部広報班 0155-48-5121
	千歳市民文化センター	ユーカラコンサート2014	第1特科団広報班 0123-23-2106
6月 8日(日)	美唄駐屯地	美唄駐屯地創立36周年記念行事	美唄駐屯地広報室 0126-62-7141
6月14日(土) ～15日(日)	滝川市(14日)	滝川駐屯地創立59周年記念行事	滝川駐屯地広報班 0125-22-2141
	滝川駐屯地(15日)		
6月15日(日)	苗穂分屯地	苗穂分屯地創立62周年記念行事	苗穂分屯地総務班広報 011-711-4251
	旭川駐屯地	第2師団創立64周年及び旭川駐屯地創立62周年記念行事	第2師団司令部広報室 0166-51-6111
6月21日(土)	札幌Jサト林-Ikitara	陸・海・空自衛隊合同コンサート ※	北部方面総監部広報室 011-511-7116
	遠軽駐屯地	遠軽駐屯地創立63周年記念行事	遠軽駐屯地広報班 0158-42-5275
6月22日(日)	留萌駐屯地	留萌駐屯地創立61周年記念行事	留萌駐屯地広報班 0164-42-2655
	丘珠駐屯地	丘珠駐屯地60周年創立記念行事	丘珠駐屯地広報班 011-781-8321
	上富良野駐屯地	上富良野駐屯地創立59周年記念行事	上富良野駐屯地広報班 0167-45-3101
6月28日(土)	北千歳駐屯地	第1特科団創隊・北千歳駐屯地開庁62周年記念行事	第1特科団広報班 0123-23-2106
6月29日(日)	島松駐屯地	島松駐屯地創立62周年記念行事	北海道補給処広報班 0123-36-8611

注: 7月もさまざまなイベントが予定されております。詳しくは陸上自衛隊北部方面隊HPをご覧ください。http://www.mod.go.jp/gsdf/nae/index.html  
行事予定は都合により延期又は中止される場合がありますので、各部隊等へ御確認願います。なお、※印のイベントについては、入場券が必要です。